

# 石川県立音楽堂 中期経営目標

(実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

## 1 施設の設置目的

音楽、邦楽、演劇その他の舞台芸術を振興し、県民文化の向上を図ることを目的としています。

## 2 施設の果たすべき役割

藩政時代から受け継がれてきた豊かな邦楽文化と、オーケストラ・アンサンブル金沢を主体とした洋楽文化の発信拠点として、3つのホール（コンサートホール、邦楽ホール、交流ホール）を併せ持つ特性を活かした事業を実施することにより、石川県の音楽文化の振興を図るとともに、JR金沢駅周辺の賑わい創出に寄与することを役割としています。

## 3 事業内容

### (1) オーケストラ・アンサンブル金沢の運営及び普及事業

石川県立音楽堂を本拠地として活動しているオーケストラ・アンサンブル金沢の公演を実施しています。

また、国内外の一流の指揮者・ソリスト等を招へいし、次代の音楽文化を担う子どもたちの育成と、音楽文化の普及にも取り組んでいます。

### (2) 音楽文化の普及振興事業

洋楽・邦楽を問わず、優れた演奏家による公演、若手演奏家・地元演奏家の支援を行い、音楽文化の普及振興を図っています。

また、多くの県民が気軽に洋楽・邦楽に触れる機会を提供し、それぞれの愛好者の拡大を図っています。

### (3) 貸館事業

洋楽及び邦楽の公演・発表会・練習や、学会等の場を提供するため、ホールや練習室等の貸館を行っています。

## 4 現状と課題

### (1) 管理運営体制について

- ・石川県立音楽堂では、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。

- ・施設における催物の企画及び運営、使用料の徴収及び利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務は指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である平成27年度から平成29年度までは「公益財団法人石川県音楽文化振興事業団」を指定管理者として指定しています。
- ・県では、指定管理者による適切な管理運営を行うため、事業内容の確認など管理業務に関する情報共有に努めています。

## (2) 施設の利用促進及びサービス（満足度）向上について

- ・指定管理者の企画運営により、各種公演を積極的に実施することで、入場者の増加に取り組んできておりますが、引き続き、多くの方々にご入場いただけるよう、取り組みに創意工夫を凝らしていく必要があります。
- ・貸館利用の促進のため、PRや営業活動などを実施していますが、さらに多くの方々に利用していただくため、より一層、取り組みを強化する必要があります。
- ・ホームページやフェイスブック、ツイッターの活用によるイベント情報の発信、新聞などへの情報提供・掲載、マスコミへの取材依頼・協力を行うなど、積極的な情報発信を行っていますが、今後とも広報活動の充実を図る必要があります。

## (3) 施設運営の効率化について

- ・施設の維持管理については、安全・安心を第一に、入場者が快適に過ごせる環境を提供しているほか、今後とも、照明や空調の効率的な管理による省エネルギーや節電など、経費の節減・効率化に努めています。

## 5 中期経営目標

### (1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ① 入場者数を3年間で5%増加させます。
- ② 利用者(貸館)アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

### (2) 測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
①入場者数		250,272人	265,000人
②利用者(貸館)アンケートにおける満足度	利用者サービス	97.8%	95%以上
	施設の維持・管理	100%	95%以上

## 6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

### (1) 施設の利用促進及びサービス（満足度）向上に向けた取り組み

- ・新たに、首都圏や長野、新潟など、北陸新幹線沿線地域でO E K公演を開催し、新たなファンの獲得を目指します。
- ・新たに、エントランス等のパブリックスペースで各種展示やロビーコンサートを実施して、入場者数の増加に努めます。
- ・オーケストラ・アンサンブル金沢の本拠地としての利用のほか、質の高い公演を提供して、入場者数の増加に努めます。
- ・県内外の旅行会社に事業団の公演を組み込んだ旅行商品の造成を働きかけ、利用を促進します。
- ・積極的な営業や、金沢コンベンションビューローとの連携により、学会等の誘致に努め、利用を促進します。
- ・小、中学生や女性団体などの各種団体の見学に積極的に対応し、施設のP Rを図ります。
- ・貸館の利用者に対しては、ホールの特性・設備・備品・安全上の注意点・進行上のアドバイス・使用料金などについて十分な打ち合わせを行い、安全で使いやすいホールとなるよう努めます。
- ・ホールの高機能性のほか、J R金沢駅前にあることや高速道路・小松空港からのアクセスの良さや、多くのホテル・飲食店など周辺施設が充実していることなど、利便性をアピールしていきます。
- ・ホームページやフェイスブック、ツイッターを活用して、イベント情報を発信し、積極的な広報活動に努めます。
- ・利用者からの意見は、業務日誌への記載等により情報共有を図り、検討・対応に努めます。また、ホームページ上に設置している意見・問い合わせフォームや公演の際に配布するアンケートにより、利用者のニーズの把握に努めます。

### (2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・施設を常に快適で安全に利用していただくため、日常及び定期の点検・保守・修繕作業を実施して、使用中の故障防止や劣化の抑制に努めます。また、館内の照明をL E D球に交換することや、空調等の設備に省エネルギータイプの部品を使用することにより、引き続き照明や空調の効率的な管理を実施していきます。

参考資料（施設の利用状況など）

（１）利用指標（入場者数、稼働率などの状況）

項 目	H 2 3	H 2 4	H 2 5
入場者数	238,543 人	265,158 人	250,272 人
稼働率	76.1%	83.2%	79.8%

（２）使用承認等の状況

項 目	H 2 3	H 2 4	H 2 5
貸館	502 件	491 件	498 件

（３）使用料の収入実績

項 目	H 2 3	H 2 4	H 2 5
ホール等使用料	107,725 千円	112,163 千円	109,605 千円
駐車場使用料	13,210 千円	12,707 千円	11,812 千円
計	120,935 千円	124,870 千円	121,417 千円